

令和元年度 第1回結婚支援企画検討委員会会議要旨

1. 日 時 令和元年10月2日 午前10時00分から午前11時30分
2. 場 所 生坂村役場会議室
3. 出席者 委 員：瀧澤龍一（村議会議員）、望月典子（村議会議員）
小林美喜子（民生児童委員）、新井芳子（女性の会）
藤原久紀（村社会福祉協議会）、平林ひろみ（村農業公社）
橋井春江（村農業公社）
村 長：藤澤泰彦
説明者：鈴木路代（いくさか大好き隊）
松沢昌志（事務局・住民課長）

4. 協議事項

- (1) 結婚相談所について
- (2) 婚活イベントについて
- (3) その他

説明事項

- ・結婚相談所の運営状況について
- ・近隣市町村の婚活イベントやセミナーなどの企画・開催について
- ・消防団アンケートの報告

委員からの意見

- ・婚活とかまえると参加しにくい。婚活とせず、独身者が集まって楽しもうという雰囲気の中で松本山雅の応援ツアー、定期的な体験ツアー、パラグライダーの体験などを、元気づくり支援金を活用して企画してはどうか。
- ・松川村では民間の方の自宅で婚活イベントを行っている方がおり、6組が成立して結婚している。カップルになった方を中心に次回のイベントを計画している。
- ・自治体同志で場所を変えて開催することも考えてみてはどうか。独身者の集まりを知らない所と知らない人で企画すると気持ちも開放的となり、交流できると思う。
- ・対象者自らがイベントの企画に参加し、スタッフとして参画してはどうか。
- ・結婚の意思がある本人に、個別に当てる必要があるのではないか。
- ・イベントをやってもその場の盛り上がりだけで終わりやすいので、その後をフォローするお節介な人が必要だと思う。
- ・婚活サポーターを育成する。

- ・適齢期の5～10年分等の同窓会を開催して、若い世代で盛り上がる企画をしてはどうか。出会いがないから出会いを作る。村外の独身者に生坂村と絡めて、大城・京ヶ倉のトレッキング、ロゲイニングなどを企画してはどうか。
- ・楽しい家庭を見れば結婚したくなるのではないか。頑張っている夫婦の姿を見せれば考えると思う。今の子どもは親の世代を含めコミュニケーションがうまくとれていない。
- ・結婚相談所の開所時間を検討する

今後の対応

まずは、結婚相談所の開所時間を月に2回ほど土日を開所して、その啓発をなるべく早く実施する。

来年度事業実施に向けイベントを企画する。5～10年位で同世代を集め、同窓生が村に来るような企画を次回会議にて提案する。内容については、次回会議にて検討する。参加者の中から実行委員を募集すること、体験型のイベントについても研究する。元気づくり支援金で活用できる取組を調べ基本案を作成する。

次回の検討委員会は12月中に会議を開催する。